

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年2月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673500098
法人名	医療法人 小山クリニック
事業所名	グループホーム れんげそう
所在地	鹿児島県南さつま市金峰町尾下390番地 (電話) 0993-77-264
自己評価作成日	平成26年 12月 20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年1月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

金峰町の裾野に広がる田園地帯に位置し、隣の小学校からは元気な子供達の声も聞こえてきて、「私もここに通ったのよ」と懐かしんで散歩コースになっています。開設当初からの指針である「なじみの方々とご一緒に自分らしさや誇りを持つ暮らしをお手伝いします」を基本理念に、またサブスローガンに「ありがとうが飛び交うれんげそう」「ダメを言わないサービス」を掲げ自宅と同じような普通の生活が送れるよう努めています。また同法人のクリニックと協力しながら看取りを視野に入れ、最後までその人らしい暮らしが提供できるようお手伝いしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

金峰山の裾野に広がる田園地帯にあり、戸外は溢れる光と青空が続き開放感に包まれている。国道270号沿いの道の駅「木花館」のすぐ近くにあり、国道より一本裏通りにあるためとても静かである。交流のある小学校は歴史があり利用者のほとんどが卒業生でもある。匿名で差し入れを置いて行かれる方や当施設の敬老会に手作りケーキを持って参加される方もいる。農業地帯という地域の特性をかんがみながらも、管理者の地域とともにある事業所、来所しやすい垣根のないオープンな事業所作りの気持ちが感じられ、今後の運営に期待がもてる。看取りの実績があり、職員の研修も充実している。最期はご家族へお返しするといった尊厳の気持ちで、一日一日を大事に大切に笑顔が出る支援を実践している。感染症対策にも細心の注意を払い調理用グローブを使用している。子育て世代の職員の勤務体制も考慮され管理者・職員間の信頼・連携・協力があり働きやすい職場環境が利用者の居心地の良さに繋がっている。ホーム便りの利用者の写真も農園の手入れや収穫物の下ごしらえ、小学生との交流など、笑顔に溢れており充実した日々の生活の様子が家族のもとに届けられている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼時の唱和を通し内容を日々確認して実践につながるよう努力している。	原点に戻り開設時からの指針を理念とし、また接遇スローガンも掲げている。運営者の強い思い「ありがとう」の気持ちをつなぐため、職員の方から言える大切さを胸に日々確認し実践に努めている	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	小学生や保育園との交流は定期的に実施され入居者にも喜ばれているので、さらに回数を増やしてみたい。	小学生の体験学習受け入れを行っている。通学路でもあり子供達とふれあいもある。開設当初から匿名で差し入れされる地域の方もいる。介護相談に応じ、農業地帯の地域性を考慮し垣根のない交流に努力している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症勉強会など民生委員などへ呼びかけているが実現できていない。相談受付の掲示をするなど工夫してみたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービス内容についての話し合いを行い、改善に向けて努力しているが、内容がマンネリ化している。	行政・民生委員・家族・利用者の参加がある。家族の固定化を防ぐため、参加計画を立て家族の理解を得ている。また他事業所の会議に出席したり、職員も積極的に参加したいという意見もあり質の高い会議を目指し運営に反映する姿勢がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進鍵への毎回の参加や今年から地域密着型サービス運営委員会に参加して協力関係をさらに深めている。	運営推進会議、電話、メール等で情報交換が出来ている。重度化が進むなか相談もでき、当事業所の紹介もあり良好な協力関係が築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に始まる高齢者への虐待など新聞テレビの報道などを資料に研修会を行い、拘束をしなくて穏やかに過ごせるケアに取り組んでいる。	毎月一回「れんげそう会議」を開催し研修を重ねている。理念・接遇スローガンの「ありがとうが飛び交うれんげそう」「ダメを言わないサービス」に通じるところでもあり、言葉使いを重視し、心ある言葉かけや誘導を実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年間計画で虐待防止の勉強会を行い、身体的にとどまらず言葉による虐待にもつながらないよう戒め合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度利用に該当する方もいて、さらに学ぶ機会を増やして基本的な人権への知識を深めたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	介護保険での契約についての理解が深い家族も多くなっており、疑問や不安を抱かないようさらに努力していきたい。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日頃の面会時や推進会議参加時に意見収集を行っているが、なかなか少ない状況である。アンケート調査を実施して多くの意見を伺いたい。	運営推進会議、面会時を利用して意見・意向の把握に努めている。また月一回の通信の中で個別にもお知らせをし、メールで写真や報告をする場合もある。家族と良い関係が出来ていて速やかな問題解決に繋がっている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定例会や朝礼などで聞く機会を設けているが、運営に反映される事は少ない。困難な事例もあるができるだけ運営に反映されるようにしたい。	母体法人の会議に出席し、事業所内の会議で報告している。管理者は、職員の相談も個別に行うなど、話しやすい雰囲気作りに努めている。看取りや子育て世代の職員の勤務体制等話し合い、協力しあう体制ができている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	給与体系や業務内容など改善出来ない事が多いが、体調不良や育児、家族の介護などいろいろな状況に応じて、出来るだけ働きやすい職場であるよう環境整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定例会での内部研修会や外部研修での報告を参考に研修の機会を設けている。また資格取得への呼びかけも行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域協議会を通じた同業者と日頃から悩みを相談して、お互いの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居申し込み時やサービス利用前に希望や悩みをお聞きし、安心して穏やかな生活が送れる関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>自宅で困っていた事や、利用開始時に起りがちな不安や不満などお互いに話し合いながら、家族と共に支えあって新しい生活が始められるようにしている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>初期の情報収集がうまくいかず戸惑うこともあるが、自宅での担当ケアマネや家族からの情報を基に必要なサービス提供に努めたい。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>一人の人生先輩として、敬いの気持ちを持ちながら、同じ空間で暮らしていく仲間としての関係作りが出来るよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	同じように悩みや喜びを共有しながら、一緒に支えあっている支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの関係が認知症へ及ぼす影響を理解して、家族の援助もお願いしながら、外出や自宅訪問が出来るよう援助している。	家族の協力をもらいながら、墓参り・自宅・美容室に出かけなじみの人と関係が途切れることなく暮らせるよう支援している。なじみの美容室の方が事業所に来てくださることもある。また毎週家族のもとに帰宅する利用者いる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	環境の違う利用者同士の共同生活で食い違う事も多いが、利用者本位に考えお互い助け合えるよう援助している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や看取りにて利用終了する方にも、お便りや訪問を行ってその後の支援に努めている。家族からはやがて自分もお世話になりたいとの言葉を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	気持ちシートを活用し、スタッフ全員で記入する事で、同じ思いで意向を共有できるように努めている。	日頃の表情をくみ取り、困っている事・好きな事・私の望みなどを日々の活動の写真を入れて「私の気持ちシート」を利用者ごとに作成している。職員全員で作成することで情報の共有も出来ている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や在宅時のケアマネより生活状況など情報収集し、また本人より日常会話を通じてどのような暮らしをしていたかなどお聞きしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人別に生活記録や体調など詳しく記録、その記録は全員で共有し、看護師との連絡も密に取り合っており、現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各担当者事にアセスメント記入、プランを参考に日々の記録を行い、モニタリングに活かしている。また日々の気づきなども取り入れた計画づくりを行っている。	利用者一人ひとりに担当職員を決めてアセスメントを作成している。介護計画作成時に「私の気持ちシート」も見直されプランの中に反映されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録台帳を用意して情報収集を行い、朝礼や連絡帳などを活用、家族へも連絡帳を作成して情報の共有化を図り実践につなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	重度化に伴って、敏速な対応や専門医受診が必要な方が多くなっている。病院との連携により早期治療や早期退院が出来るよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	住みなれた地域でのつながりを大切に、急に出かけても安心できるように警察や消防機関、交通機関などへの協力を呼びかけている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医との情報を共有し、家族と協力しながら関係性を持っている。また家族対応が基本だが困難な場合は職員が代行するなど柔軟な対応がなされている。	利用者や家族の希望するかかりつけ医の支援をしている。訪問診療が月に2回訪問看護も週に2回ある。母体が医療機関ということも家族の安心になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	契約看護師の定期的な訪問、緊急時にはいつでも看護師が相談できる体制が確保されている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は必要な情報提供をし、入院中の面会も頻会に行い、利用者家族の不安解消を図っている。またその後の対応など誠意を持って対応している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に事業所における重度化した場合の対応を説明し、状況の変化に合わせて意向確認書や同意書を作成して、家族と一緒に終末を迎えられるよう実践している。	看取りの実績がある。入居時また状況に合わせて看取りの介護の同意書、看取りのプラン作成をして家族と職員が方針を共有し支援に取り組んでいる。職員を県外の研修に参加させるなど質の高いスタッフ育成にも努力している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成、繰り返し自己研修を行っているが、実際の経験が大きな事もあり、職員の不安は消えない。普段から対応への訓練を重ね実践力を身につけていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	色々な災害時の対応を想定して訓練を実施しているが、夜間や車椅子での誘導、避難先など課題も多い。今後も地域に緊急時の援助を呼びかけていきたい。	事業所独自にコンセント確認シートや避難時の人数チェック表を作成し職員の意識を高めている。避難訓練のお知らせを配ったり、近隣の障がい施設の訓練に参加したり今後の地域の協力を見据えた努力がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修会で特に入浴や排泄などでのプライバシーに関する研修を行い、言葉かけや羞恥心への配慮を通して、誇りやプライバシーを損ねない対応が出来るよう努めている。	アセスメントの時に利用者に応じた呼び方を聞いている。トイレ誘導など小声の言葉かけや、排泄の始末の仕方など配慮した対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	うまく言葉が出なかったり、思いを表現できない方も多いが、その時の態度や表情からその思いをくみとり、希望に添った生活ができるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな1日の流れはあるが、食事や休憩時間、その場所などそれぞれ柔軟に対応している。またその思いを大切に、希望に添えるよう配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	若い頃の装いなど家族のご意見も聞きながら、その人らしい身だしなみができるよう一緒にお手伝いしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しみである食事ができるよう、一緒に下ごしらえをしたり、下膳などできる事に参加して、一緒に楽しく過ごせるようにしている。	季節を通して自家農園の収穫があり、また差し入れもある。下ごしらえの皮むきを手伝ったりする。きざみ食と時間をずらすなど支援が行き届くよう配慮がある。行事食や誕生日の食事などプレゼントを添えたり楽しみの工夫がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	誤嚥を繰り返し希望量の摂取が困難な事も多いが、体調や能力に合わせて形態や食べる量、食器を工夫し、できるだけ自力摂取が続けられるよう援助している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの重要性を認識し、それぞれの能力に合わせて声かけや歯磨きのお手伝いをしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	プライバシーに配慮しながら、排泄用品や声かけを工夫して、能力に合わせて少しでも多くトイレが利用できるよう援助を行っている。	一年中、温タオル（下用専用の温かいタオル）が用意しており清潔保持と保温が実践されている。チェックシートを利用者に見せて話をし納得してもらい誘導につなげている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の体に及ぼす悪影響を理解し、体操やマッサージを行ったり、下剤を服用している方も個別に調整して体調悪化防止に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者の体調や気分に合わせて声かけや誘導を行って、気持ち良く入浴できるようにしている。また困難な方は足浴や清拭を行っている。	週に3回午前実施している。体調や状況、希望に応じ順番を変えたり翌日にしたりと気持ちよく入浴出来るよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	散歩や体操などで体を動かし、活動的に過ごして夜間安眠できるよう努めている。また眠れない時は一緒にお話やお茶を飲んだり寄り添った援助を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別の薬剤情報をファイルしていつでも確認出来るようにしている。また急な変更にもすぐに看護師、薬剤師に確認をとり、的確な対応ができるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	動ける方は外に出て野菜や花々を楽しんだり、室内では座ってできる作業を行うなど、個々の能力に合わせた援助で、楽しみを持つ生活づくりを応援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気や体調に合わせて、近くの学校や商店に出かけて気分転換を図っている。また家族の協力をもらいながらお墓参りなどを行っている。	小学校に散歩に行ったりウッドデッキや玄関先で外気浴をしている。外食や季節の花見、個別になじみの場所へ行くこともある。正月に外泊する利用者もいる。介護度が進み自然と機会が少なくなっていたが職員のほうから声があがり今後の目標になっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の今までの生活歴から、お金への強い思いを理解して小額でも所持できるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族との会話は楽しみにされており、特に遠方の家族には電話で話してもらったり、手紙は代読して一緒に返事を書いたりしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下やホールで季節ごとの写真や一緒に作った壁画を飾ったり、中庭や畑など色々な空間を活用して、気持ちよく過せる空間作りを行っている。	廊下もホールも天窓があり採光が良く暖かく明るい雰囲気である。手作りのちぎり絵や利用者一人ひとりの年頭の希望・目標も貼ってある。ソファや廊下に日光浴専用の椅子があり好きな場所でくつろげるよう工夫された空間になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その時の気分に合わせて、気兼ねなく過ごせるようソファやイスを準備したり、昼で休んでもらうなど、その方の思いを取り入れられるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を持ち込んだり、想いでの写真や馴染みの物を飾って、本人の過ごしやすい環境づくりを行っている。	希望に応じてラジカセや人形の持ち込み、お孫さんの写真思い出の写真が飾られている。百歳のお祝いボードがあったり温かい雰囲気自宅のようにつろげる配慮がある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂など分かりやすい言葉で張り紙をしたり、居室入り口に表札や写真を飾るなどできるだけ不安の少ない生活が送れるようにしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない